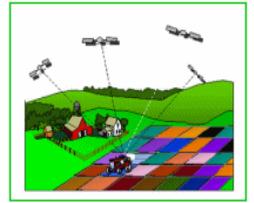


# 北海道情報化農業ニュース

北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進  
およびその健全な普及を図る。



- 「現地視察会」開催案内
- 「農業微生物研究シンポジウム」開催案内
- ●

号外 2015. 06. 23

十勝スマート農業協議会より「現地視察会」と農業微生物シンポジウム事務局より「シンポジウム」の開催案内が届きましたので、お知らせします。

「寒地畑作地域における省力技術体系と ICT 活用を基軸としたスマート農業モデルの実証」、「精密可変施肥システム、および可変施肥対応型散布量制御装置の開発」、「IT 農業インフラとしてのインターネット接続による高精度位置情報を活用する大規模・省力化推進ネットワークシステムの実証」

## 平成27年度第1回現地視察会開催要領

■開催日時： 平成27年7月8日(水) 13:30～9日(木) 12:00

■開催場所

(報告会)： 鹿追町民ホール(〒081-0222 北海道河東郡鹿追町東町3丁目2番地)

(現地視察)： JA 鹿追町管内生産者実証圃場、  
鹿追町農協育苗センター(〒081-0202 北海道河東郡鹿追町北町4丁目1-1)

■参集範囲

農林水産省関係者、プログラムオフィサー、農研機構関係者、課題担当者、連携協力機関、生産者、  
その他オブザーバーなど研究代表者が必要と認める者

■内容・議事次第

◇1日目(7月8日(水) 13:30～16:30)

【報告会】

開催場所：鹿追町民ホール(北海道河東郡鹿追町東町3丁目2番地)

1. 挨拶

2. 報告

- 1) 生産性向上のための ICT を活用した高精度作業支援技術の実証(仮) 北農研
- 2) 短周期リモートセンシングと可変施肥効果の実証(仮) 十勝農試、(株)ズコーシャ
- 3) 後付型 ECU による既存機での高精度作業などの実証(仮) (株) I H I、北農研
- 4) ICT による農業情報集積と利用モデルの構築(仮) (株) 日立ソリューション
- 5) JA の取り組みと今後の方向性(仮) JA 鹿追町

3. 意見交換

4. 挨拶

【情報交換会】

開催場所：鹿追町民ホール(北海道河東郡鹿追町東町3丁目2番地電話 0156-66-3300)

開催日時：7月8日(水) 17:00～18:45

会費：5000円

◇2日目(7月9日(木) 9:00～12:00)

**【現地視察会】**

開催場所：鹿追町内生産者圃場(圃場視察)、鹿追町農協育苗センター(機械展示・実演)  
○町民ホールよりバスで移動します。8時50分までに町民ホール前にお越し下さい

**1. 圃場視察**

- 1) テンサイ基肥可変施肥実証圃場
- 2) コムギ可変施肥実証圃場
- 3) キャベツ機械収穫実証圃場(実演含む)

**2. 機械展示・実演**

- 1) 機械展示  
カットドレーン、基肥可変施肥機、可変施肥機(I H I スター)、ECセンサ、作業機 ECU、収量センサ
- 2) 実演  
可変施肥作業、ラジヘリによるリモートセンシング、ICTによる農業情報集積

(天候により、現地視察と報告会とのプログラム変更があります。)

**■参加申込み**

参加申込みは別紙1にて事務局宛「6月26日(金)」までにご連絡下さい。

**■その他**

報告会および現地視察の詳細な日程と内容などは別紙2にてご確認ください。  
報告会終了後に情報交換会を予定しています。

**■連絡先 (十勝スマート農業協議会事務局)**

082-0081 北海道河西郡芽室町新生南9-4  
北海道農業研究センター大規模畑作研究領域上席研究員澁谷幸憲  
TEL 0155-62-9280 FAX 0155-61-2127  
E-mail [yukky@affrc.go.jp](mailto:yukky@affrc.go.jp)

\*\*\*\*\*

**農業微生物研究シンポジウム  
共生微生物の有用機能を活用した持続的農業の探求**

**■開催日時：** 7月9日(木) 13:00~17:00 (12:30 開場)

**■開催場所：** とちちプラザ2階視聴覚室(北海道帯広市西4条南13丁目電話:0155-22-7890)

**■第1部招待講演 13:00~15:50**

1. 「地球環境に優しい持続的農業のブランド化」  
東北大学大学院生命科学研究科 教授 南澤 究 氏
2. 「作物と微生物の共生に及ぼす光の色(質)の影響」  
佐賀大学農学部生物環境科学科 教授 鈴木 章弘 氏
3. 「植物共生微生物の農業への利用」  
帯広畜産大学食品科学研究部門 教授 大和田 琢二 氏

**■第2部農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(26065B)**

「施用効果の安定性に優れ、低コスト省力型栽培を可能にする新規微生物資材の開発」成果報告

1. 「共生微生物多様性情報を活用したテンサイからの有用細菌の効率的な選抜」  
北海道農業研究センター畑作基盤研究領域 主任研究員 岡崎 和之 氏
2. 「バレイショ・テンサイ有用細菌の野菜類に対する接種効果」  
近畿中国四国農業研究センター水田作研究領域 主任研究員 野見山 孝司 氏
3. 「有用共生微生物の資材化の試み」  
片倉チッカリン株式会社筑波総合研究所 主任研究員 三星 暢公 氏

■ 参集範囲

農林水産省関係者、持続的農業・農業関連の環境問題に興味を有する市民・生産者、都道府県職員、市町村職員、農業団体職員、農業改良普及指導員、公的機関及び民間の研究者等

■ 参加費：無料

■ 主催

農林水産省・食品産業科学技術研究推進事業「26065B」・農業微生物シンポジウム事務局

■ 定員：120名

■ 参加申込み

別紙1に氏名等をご記入頂き、下記のあて先までお申し込み下さい。  
締め切りは7月6日とさせていただきます。

■ 参加申込み・問い合わせ先

農研機構北海道農業研究センター畑作基盤研究領域 主任研究員 岡崎 和之  
TEL：0155-62-9271、FAX：0155-61-2127  
E-mail：[okakazu@affrc.go.jp](mailto:okakazu@affrc.go.jp)

＜発行＞北海道高度情報化農業研究会  
事務局長：内田 秀一  
事務局員：尾居 清一  
〒060-0005 札幌市中央区北5西6-1  
公益財団法人北海道農業公社 農村振興部  
TEL：011-241-7551 FAX：011-271-3776  
e-mail：[uchiida@adhokkaido.or.jp](mailto:uchiida@adhokkaido.or.jp)  
編集委員：丸山 健次（酪農学園大学）  
TEL&FAX：011-388-4864